（様式３）

会議の開催結果について

１　会議名	令和元年度第１回河内長野市文化財保護審議会
２　開催日時	令和元年１１月１３日（水）午後２時から
３　開催場所	市役所７階　行政委員会室
４　会議の概要	・議事第１号 議事「河内長野市文化財保存活用地域計画」について ・報告第１号 報告「流谷地区の祭礼に関する今後の調査と保存措置について」 ・報告第２号 報告「平成３０年度　事業報告」について ・報告第３号 報告「令和２年度　事業計画」について
５　公開・非公開の別（理由）	公開
６　傍聴人数	０人
７　問い合わせ先	（担当課名）生涯学習部文化財保護課 文化財保存活用係（内線７５０）
８　その他	

＊同一の会議が１週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和元年度第１回河内長野市保護審議会議事録

日　　時　：　令和元年１１月１３日（水）午後２時から
場　　所　：　河内長野市役所　７階　行政委員会室
出 席 委 員　：　櫻井　敏雄 会長
樽野　博幸 委員
北川　央　委員
小栗栖　健治 委員
吉原　忠雄　委員

事務局側出席者　：　松本　芳孝　河内長野市教育長
小川　祥　　河内長野市教育委員会生涯学習部長
井上　剛一　河内長野市教育委員会生涯学習部理事
伊藤　浩吉　生涯学習部文化財保護課長
太田　宏明　文化財保護課課長補佐
鈴木　志織　文化財保護課

案　　件　：　議事第１号　議事「河内長野市文化財保存活用地域計画」について
報告第１号　報告「流谷地区の祭礼に関する今後の調査と保存措置について」
報告第２号　報告「平成３０年度　事業報告」について
報告第３号　報告「令和２年度　事業計画」について

議案第１号
議事「河内長野市文化財保存活用地域計画」について
〈事務局説明〉

吉原委員
・ｐ91 広域連携について、美術史でいうと、南河内全体で考えたら時代の大きな流れをみてとることができる。とても重要な考え方である。河内長野市では本計画等を策定し、文化財を保護する体制が整っているが、他市はそうでないところが多い。広域での協力体制があればいい。

櫻井会長
・広域で見てこそみえてくるということもある。河内長野市でリーダーシップをとって、他を良くしてほしい。

北川委員
・高野詣、高野街道は河内長野市だけではない。整備していく時に、他市と落差がないように。例えば自分がかかわっている紀伊山地では、市域が変わると看板の体裁が大きくかわるのが一目瞭然である。県でも差、市町村でも差がある。整備の質を均質化していけたらいい。
・日本遺産は「中世に出逢えるまち」で認定されたが、中世に焦点が当たりすぎることのデメリットもあるのではないだろうか。今我々が大事にしているものだけが大切なのではない。他の時代をおろそかにしないように。

櫻井会長
・時代について、全体をつなぐような文章があったほうがよい。

事務局
・ｐ15「第3章　河内長野市の歴史文化の特徴」に反映させる。

吉原委員
・仏教美術でいうと室町時代が重要視されるが、本当は近世のものも大事にしていかなければならない。どんなものであっても、今後価値が見直されるかもしれない。

櫻井会長
・本計画は、今おかれている社会に受け入れられるのか。

事務局
・以前歴史文化基本構想を策定した際、住民説明会を実施した。その時に意見を聞いていると、観光客が増えることを歓迎されている方は多かった。ただし、祭りに関しては、地区外の人が入って来られるのを嫌うところも確かにあった。

櫻井会長
・20年、30年、50年というスパンで見た時、人員や予算がますます削られている中で、何年この計画がもつか。国の方針に沿ったまっとうなやり方であるが、こうしたまっとうなやり方では先細りになっていくのではないだろうか。とんでもないと思われるような組み合わせをしてみてはどうだろうか。
・事業も課ごとでやっていたのでは古い。

小栗栖委員
・構想が具体化されていくのに、労力がどれくらいかかるのか。計画等は行政が主体となって作っていくが、地域の人たちの役に立つのか、よろこんでくれるのか、市域が将来どういう風になるのか。時代が変わっていくと見直しが必要になるので、何年機能するか、どれだけ活きるのかも計画にもとづく事業を実施しながら考えてほしい。

報告第１号

報告「流谷地区の祭礼に関する今後の調査と保存措置について」

〈事務局説明〉

事務局

・今年度から予備調査を行い、指定措置が可能なものであれば、来年度には早速諮問を行いたいと考えている。

報告第２号

報告「平成３０年度　事業報告」について

〈事務局説明〉

櫻井会長

・最近、事業が完了した際の審議会向け現地説明等が開催されていない。大きな事業のみで良いが、委員として見ておいた方が良いと思うので、実施してほしい。

事務局

・了解した。さっそく調整して実施できるようにする。

報告第３号

報告「令和２年度　事業計画」について

〈事務局説明〉

櫻井会長

・審議会の要望としては、予算をこれ以上落とさないようにしてほしい。

その他

「令和元年度日本遺産シンポジウム　ＩＮ　河内長野について」

「国指定重要文化財（建造物）の指定について」